

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
渡島	鹿部町	平成 23 年度～平成 27 年度	平成 23 年度～平成 27 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成21年度)	目 標 (平成28年度) A	実 績 (平成28年度) B	実績 B /目標 A	
排出量	事業系 総排出量	3 0 2 t	2 9 1 t	2 4 1 t	82.8%
	1 事業所当たりの排出量				
	家庭系 総排出量	1. 4 1 t	1. 4 0 t	2. 8 7 t	205.0%
	1 事業所当たりの排出量				
	1, 0 8 6 t 1 7 2 kg/人	1, 0 3 1 t 1 7 0 kg/人	1, 0 3 5 t 1 9 9 kg/人	100.4% 117.1%	
合 計 事業系家庭系総排出量合計	1, 3 8 8 t	1, 3 2 2 t	1, 2 7 6 t	96.5%	
再生利用量	直接資源化量				
	総資源化量	0 t	0 t	0 t	%
		3 1 6 t	3 2 5 t	2 2 0 t	67.7%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	2 4 4 MWh	2 5 5 MWh	2 6 7 MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	9 7 0 t	8 9 7 t	8 9 2 t	99.4%
最終処分量	埋立最終処分量	1 0 2 t	1 0 0 t	1 6 4 t	164.0%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績 B /目標A
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	% %	% %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	% %	% %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	% %	% %
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

<p>(ごみ処理)</p> <p>○排出量 事業系ごみの1事業者当たりの排出量が増加した主な要因としては、計画作成時に比べごみ排出量が少量の事業所が廃業したことが一因と考えられる。 家庭系ごみの1人当たりの排出量が増加した主な要因としては、人口の減少及び遺品整理の際に発生するごみが増加していることが一因と考えられる。</p> <p>○再生利用量 主な要因としては、ペットボトル、アルミ缶、ダンボール等の店頭回収や新聞の販売店回収の普及などが考えられる。</p> <p>○最終処分量 主な要因としては、台風による災害廃棄物による増加が大きな一因である。</p>
--

### 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度33年度まで

(ごみ処理)

今後、ゴミ処理に関する普及啓発（ホームページや広報等による周知徹底）や助成金等による支援を行うとともに、各種施策を積極的  
に取組み、未達成であった各目標の改善に結びつける。具体的には、以下の取組みを重点的に推進する。

【排出量】

- 家庭系ごみの減量化を推進するため、生ごみ処理機及びコンポストの普及啓発により、可燃ごみに含まれる生ごみの減量化を図る。
- 食べ残し、使わない食品の防止普及啓発により、可燃ごみに含まれる生ごみの減量化を図る。
- 家具や衣類の再使用を促進し、ゴミの減量化を図るため、広報等によるリサイクルショップの情報の提供を検討する。

【再生利用量】

- 可燃ごみに混入している資源物を減らすため、家庭ごみ分別の周知徹底を図る。
- 助成金制度の周知徹底により、生ごみ処理機の普及を図り、ゴミの減量化及び再生利用の促進を図る。

(都道府県知事の所見)